長崎高教組
定通部だより
2018年10月31日
第2号
発行責任者　烏山 隆弘

ホームページ　http://nagasaki-kokyoso.org
メールアドレス　info@nagasaki-kokyoso.org

第29回 定通部定期大会

◆日　　程　2018年10月13日（土）　13:00～15:10
◆会　　場　長崎高教組会館
◆出 席 者　10名（12分会、うち委任状6分会）

◆議　事　（詳細は議案書でご確認ください）

・第１号議案　2017年度決算承認に関する件

・第２号議案　2018年度役員承認に関する件

2018年度 定通部役員

部 長	濱本　功二（佐世保中央夜間） *全教定通部長兼務	副部長	山本　朋子（佐世保中央通信） 烏山　隆弘（鳴滝夜間）

・第３号議案　2018年度方針決定に関する件

１　経過報告･とりくみ総括

担当者からの説明に加え、各活動の参加者が活動内容や感想等を還流報告し、出席者の情報共有の場にもなりました。（文科省交渉、全教定通部定期総会、全国定通教育学習交流集会、中四九ブロック学習交流集会、定通部定期大会、県教研定通部分科会、ゆめおす特別講演会等）また、「定時制・通信制教育の充実を求める署名」（34分会から1,063筆）は、文科省交渉（11月9日）の場で手渡すことも報告されました。

２　全体の情勢

各職場で多忙化を解消し、ゆとりある学校をつくることが提案されました。また、文科省交渉(2017年11月)の概要報告と、重点要求項目に外国籍の生徒に対する支援も盛り込む提案が出されました。

３　活動方針

来年度の定通部県教委交渉の内容について討議しました。前回の交渉内容を基盤にし、下記(12)を追加する方向で進めることが提案されました。

次回(2019年)県教委交渉の柱

(1) エンカレッジコース鳴滝夜間への導入反対、佐世保中央夜間も見直し　(2) 安易な統廃合反対
(3) スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー配置　(4) 教科書・夜食費補助と給食の充実
(5) キャリアサポートスタッフ配置　(6) 給付型奨学金　(7) 授業料無償化、就学支援金手続簡略化
(8) 20人以下学級　(9) 入学願書受付を勤務時間に　(10) 社会人自己推薦制度、職場所属長推薦制度
(11) 離島の通信制生徒に交通費・宿泊費の補助　(12) 外国籍の生徒への行政支援（加配、体制等）

・第４号議案　2018年度予算に関する件

・第５号議案　その他

５つの議案は、拍手で承認されました。

県教研 定通教育分科会

◆日　　程　2018年10月13日（土）　15:25～17:10
◆会　　場　長崎高教組会館
◆参 加 者　９名

今回の教研の主眼は、佐世保中央高校夜間部で今年度から始まったエンカレッジコースの制度や現状について学習を深め、問題点等を討議し整理することです。あわせて、計４本のレポートが報告され、情報共有と学習交流の場となりました。

レポート報告＆質疑応答

１　佐世保中央高校夜間からの報告（佐世保中央夜間部　濱本さん）

エンカレッジコースについて

１　在　籍（４月時点）

年	コース	学科	始業	男	女	計	
1年	**エンカレッジ**	普通	**14:25**	19	14	33	68
	エンカレッジ	商業		7	5	12	
	夜　間	普通	17:25	16	7	23	
2年	夜　間	普通	17:25	13	10	23	32
		商業		4	5	9	
3年	夜　間	普通	17:25	10	6	16	24
		商業		3	5	8	
4年	夜　間	普通	17:25	0	1	1	2
		商業		0	1	1	
計				72	54	126	

２　時　程

勤務時間	13:15 ～ 21:45
休憩時間	16:15 ～ 17:00

エンカレッジコース	１校時	(45分)	○14:25 ～ ×15:10
	２校時	(45分)	×15:20 ～ ○16:05
	掃　除	(10分)	○16:05 ～ ×16:15
	給　食	(50分)	○16:30 ～ ○17:20
	ＳＨＲ	(10分)	○17:25 ～ ○17:35
	３校時	(45分)	○17:40 ～ ○18:25
	４校時	(45分)	○18:30 ～ ○19:15
	５校時	(45分)	○19:20 ～ ○20:05
	６校時	(45分)	○20:10 ～ ○20:55
	掃除･SHR	(5分)	○20:55 ～ ×21:00
	部活動	(45分)	～ ×21:45

夜間コース

○チャイム有　×チャイム無

夜間とエンカレッジの両コース間で授業相互乗り入れはできない。

佐世保中央高校夜間部が取り組んできた複雑な教育制度５項目に加え、エンカレッジコース設置により新たに発生した問題点２１項目が報告されました。問題点のうち、教職員の多忙化や生徒指導の困難化に分類されるものが１４項目、エンカレッジコースの生徒が受ける不利益が６項目、エンカレッジコース設置によって学級減となった昼間部への大きな副作用が１項目。問題点の多くは、時間と空間の物理的問題によるものです。さらに、教職員多忙化１４項目は、夜間部･エンカレッジ両コースの生徒にも間接的に不利益をもたらします。これは、ゆとりのある学校づくりを提唱した定期大会の趣旨にも反します。

多忙化や問題点の感覚的な部分について、今後、職場の意見を集約する形で具体的に数値化・可視化した上で、昼間部を含めた学校全体の問題として精査する必要性が確認されました。

複雑な教育制度　（①・⑤は、４年間の学習内容を半ば強引に３年で修了することを目的に設定された制度）

① 定通併修(22単位)、② 学び直し、③ 通級授業、④ 特別支援教育研修会、⑤ 通信制授業による単位取得

２　2018年 定通部調査まとめ（本部　今泉さん）

全教定通部調査集約結果報告と分析（① 生徒指導、② 日本語を母語としない生徒に対する支援、③ 2018年度入試志願状況、④ 養護教諭・給食・SSW 他）

３　コミュ英基礎　２学期中間テスト（鳴滝夜間部　鈴木さん）

日本語を母語としない生徒に対する支援の一環として、ルビや問題･解答用紙一体型考査問題を紹介。

４　中庭に関するアンケート（鳴滝夜間部　烏山）

集団に対し意見を求められた際の対応方法や集団意思決定のプロセスを開示することの意義を報告。

各分会の状況

外国籍生徒への支援や就学支援金手続他、各分会のとりくみや課題等について意見交流しました。

夕食交流会（６名参加）　長崎市内「七輪亭」にて塩ホルモンで交流を深めました。